

記入例

不動産鑑定業者登録申請書 (新規 ・ 更新)
どちらかの□にチェック

私は、第11回（2022年度～2024年度）不動産鑑定業者登録を申請します。
 なお、この申請書を含む貴社への提出書類の内容について事実と相違ないこと及び貴社が定める登録業者の欠格要件に該当しないことを誓約します。

提出日：西暦 **2022** 年 **2** 月 **14** 日

末尾の注1を参照し、
 どちらかにチェック
 を入れます。

住所：〒 **000-0000** **東京都〇〇市〇〇町〇-〇-〇** **△△ビル100号室**
 フリガナ **シュトコウソクカンテイケンキョウジョ**
 商号又は名称：**株式会社 首都高速鑑定研究所**
 代表者氏名：**代表取締役社長 東京 太郎** ①

首都高速道路株式会社 更新・建設部

どちらかにチェックを入れます。知事登録の
 場合は、都道府県名を記入します。

代表者印

不動産鑑定業者の登録	<input type="checkbox"/> 国土交通大臣登録 <small>どちらかの□にチェック</small> (0) 第 0 号 (0000 年 00 月 00 日 登録) <input checked="" type="checkbox"/> 東京都 知事登録	
不動産鑑定士の数	不動産鑑定士： 00 名	不動産鑑定士補： 0 名 (2022年1月1日現在)
当社からの連絡窓口となるご担当の方	所属： 総務課 記入の必要がない場合は空欄で構いません。 フリガナ： シバヤ ハナコ 氏名： 渋谷 花子 連絡先電話番号： 03-0000-0000 指定期間中に分科会等の変更があった場合はこのように記入してください。 FAX番号： 03-0000-0000 電子メールアドレス： sample@***.co.jp	
東京都内、神奈川県内又は埼玉県内に所在する事務所	名称 本部	所在地 〒 111-1111 東京都〇〇市〇〇町〇-〇-〇 △△ビル100号室
	名称 神奈川支部	所在地 〒 222-2222 神奈川県横浜市〇〇区〇〇町〇-〇〇
	名称 埼玉支部	所在地 〒 333-3333 埼玉県さいたま市〇〇区〇〇町〇〇〇-〇〇
国土交通省地価公示鑑定評価員として東京都特別区内(区部)、神奈川県横浜市内又は埼玉県さいたま市内を担当した経験のある不動産鑑定士 ※2012年から2021年までの間の担当経験を記入してください。	氏名： 江戸 道男	氏名： 武蔵 速子
	分科会： 区部 第 1 分科会	分科会： 区部 第 2 分科会
	市区名： 東京都〇〇区、□□区	市区名： 東京都◇◇区、▽▽区
	担当期間： 2012年～2021年	担当期間： 2012年～2017年
	氏名： 相模 路夫	氏名： 相模 路夫 (左欄続き)
	分科会： 神奈川 第 1 分科会	分科会： 神奈川 第 2 分科会
市区名： 横浜市〇〇区、□□区	市区名： 横浜市●●区、■■区	
担当期間： 2012年～2013年	担当期間： 2014年～2021年	
氏名： 大宮 華代	氏名：	
分科会： 埼玉 第 1 分科会	分科会： 第 1 分科会	
市区名： さいたま市〇〇区、□□区	市区名： 分科会の市区はすべて記載してください。	
担当期間： 2014年～2020年、2016年を除く	担当期間：	
受理者使用欄	登録No.	

注1 表題の括弧内は、前回の登録業者になった方のみ「更新」にチェックをし、そのほかの方は「新規」にチェックをしてください。

注2 記入すべき事務所又は不動産鑑定士が多数あり、この申請書の該当欄が不足する場合は、別紙に記入して、添付してください。

指定期間

指定期間前に担当経験があっても、ここでは指定期間内のみ記入してください。